

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	IPPO長田校		
○保護者評価実施期間	令和 7年 1月 10日		～ 令和 7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26人	(回答者数) 21人
○従業者評価実施期間	令和 7年 1月 10日		～ 令和 7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 2月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童に対して挨拶や礼儀など日常的に必要なマナーを繰り返し伝えていること。	職員がその都度、時間をとって児童に伝えていること。	全員に同様の内容を伝えているので、理解や判断力に差が見られる児童にはフィードバックを行うこと。
2	児童が意欲的に活動へ取り組んでいる。	明るく楽しい雰囲気を作り、児童が自主的に活動へ参加しやすい雰囲気がある。	5領域に活動の幅が増えたことによって課題に取り組めない児童に対し、声かけ等の支援を行う。
3	保護者様との信頼関係を築いている。	保護者様の相談等、すぐに対応できるように職員間の情報共有をしっかりと行っている。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	災害時の訓練は定期的に行っていますが、訓練の日に利用している児童に関しては送迎時に実施した旨を伝えているが、参加していない児童の保護者様への周知に関しては不十分であるところ。	参加していない児童の保護者様に発信する機会が少ないこと。	IPPOだよりやLINE等を使った事業所内での活動内容（取り組み）を発信を検討していく必要がある。
2	学校への送迎時に児童の様子を伺ってはいるが、担任の先生と会わないことが多いので、学校との連携が不十分であると感じる。	担当者会議等がなければ、児童の学校での様子や課題を共有する場が少ない。	送迎時ではなく、別途、学校の担任の先生との情報共有を図る場と時間を確保する。
3	専門的支援の実施がおこなわれていないところ。	専門的支援を実施できる職員が在籍しているのに、児童の苦手なところを専門的援が実施できていないところ。	専門的支援が必要な児童に対して職員間で話し合いの場を設け、必要と思われる児童の専門的支援実施計画書の作成を行い保護者様の同意を得る。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		IPPO長田校				公表日		2025年 3月 3日	
						利用児童数		26名	
								回収数 21名	
		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21					十分な活動スペースは確保できている。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1			(どちらともいえない) 制度上のこともありますがサポートする大人は多い方がありがたい。	職員の配置数は人員基準を満たしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20			1		日々の整理整頓を心掛け、視覚支援を用いた分かりやすい生活環境をつくる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	21					日々、清掃・消毒を必ず行っています。また、活動場面に合わせた環境設定を心掛ける。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20				1	日々の振り返り・情報共有を行い、個々の特性を十分理解し支援を行えるよう努める。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20				1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20				1	引き続き保護者の方からのご意見を頂き、職員間で会議を開催したうえで個別支援計画を作成する。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20				1	引き続き職員間で会議を行ったうえで、5領域に沿った支援、及び「家族支援・移行支援・地域支援・地域連携」で示す支援内容を設定する。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20				1	日々、計画に沿った支援ができるように職員間で情報共有を行う。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21					子どもたちが楽しく取り組めるプログラムを日々工夫しながら取り組む。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	4	3		9	(わからない) 小学校のお祭りで屋台があります。 地域のイベントに参加できる機会を検討する。	
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	1			1	契約時に書面を用いて説明を行う。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20					保護者の方からの要望に基づいた内容を目標とし、どのような支援をさせていただくかを書面で示し説明を行う。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	5	5		8	(いいえ) 研修会して欲しいです。	保護者の方と情報共有を行える場を設けられるよう検討する。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達について共通理解ができていると思いますか。	21						今後も送迎時にお子様の様子を伝え、共通理解ができるよう努める。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1				1	保護者の方と面談を行い、日々の情報共有をおこなうことができる機会を増やす。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21						引き続き、児童・保護者の方に寄り添いながら共感的に支援ができるよう努める。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	3	5		9	(いいえ) 参観&交流会して欲しいです。	保護者の方に参加して頂けるイベントやきょうだいの方との交流がもてる場を検討する。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19		1	1	引き続き、ご相談や申し入れに対して迅速かつ適切に対応する。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20			1	今後も保護者の方との意思の疎通や情報伝達ができるように努める。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19			2	今後もホームページ・Instagramにて日々の活動を伝える。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20			1	個人情報の取り扱いについては書類等、鍵付きの書庫に保管する。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19		1	1	各種マニュアルについて保護者の方に周知していただけるように努める。また、職員全員が適切に対応できるように非常時のマニュアルを作成し確認・訓練を行う。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			10	児童参加型を含めて年2回実施する。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20			1	安全確保計画書に基づいた訓練を通して支援を行う。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20			1	事故や怪我等緊急を要すると判断した際には、保護者の方に速やかに連絡し発生した際の状況等について説明する。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20			1	安心して通所できるよう、職員一同精一杯努力する。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20		1		楽しみを持って通所できる環境・カリキュラムを立案する。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20			1	いつもありがとうございます。 皆様に満足していただける支援を提供できるよう努める。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		IPPO長田校				公表日	2025年 3月 3日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		指定基準に沿った広さを確保し、安全面への配慮に努めています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	1	職員の配置数は基準を満たしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	子どもにわかりやすいように配置、掲示を行っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日、清掃・消毒を行い清潔な環境を整え、子どもたちが過ごしやすい空間を作っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		毎朝ミーティングを行い業務内容を確認している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		評価表をもとに職員に共有するとともに、業務改善に努めています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		必要に応じて個別に業務改善について話し合っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	第三者委員会の設置はないが、法人内で情報共有を行い、改善に繋がる話し合いを行っています。	今後は第三者委員会の設置を検討し、より良い事業所の運営に努めていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	1	事業所内及び法人内研修を行い、資質向上を行っています。		
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1	ホームページに公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		更新前時にアセスメントを行い、保護者のご意向を踏まえ支援計画書の作成を行っています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	1	児童発達支援管理責任者が作成したものを職員に共有し、共通理解に努めています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1	作成された計画書をもとに、支援プログラムを設定し支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	日々の振り返りの時間を設け、子どもの様子や行動など職員間で話し合っています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	1	計画書原案に基づき職員全員で、放課後等デイサービスガイドライン及び支援内容も踏まえながら、適切な支援が行うことができるよう担当者会議での意見を反映できるように努めている。		

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		運動・SST・イベントなど子どもたちが楽しみを持って行えるプログラムを職員全員で立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		固定化しないように活動プログラムを設定し、利用者の状況に応じた活動プログラムを策定しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		子どもの状況を見ながら個別活動と集団活動を組み合わせた内容や時間を工夫・調節して支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		毎日、朝礼、ミーティングを行っています。その日の利用児の送迎及び支援内容や役割分担などを確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		支援終了後に職員同士で情報を共有していますが、翌日のミーティングの際に再度、改めて前回の気づきや反省点を共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		PCを用いて業務日誌に記録しています。利用者の成長過程や現状を把握し、支援の検証・改善に繋がっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		担当者会議ごとにモニタリングを行っています。個別支援計画は6ヶ月毎で中間評価を行い達成状況を確認したうえで終了評価までの支援を行います。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		「自立支援・創作活動・地域交流・余暇の提供」複数の活動を組み合わせ支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	1	子どもが自己選択し自己決定する機会を設け支援を行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		子どものことをよく理解・把握した児童発達支援管理責任者及び管理者が参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		4	協力医療機関の設定や関係機関との連携を図り支援を行う体制を整えています。	協力医療機関の設定や関係機関との連携を図り支援を行う体制を整えています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		利用者本人に関する必要な情報は学校にお迎えに行った際、情報共有を図るよう努めています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	1	利用者本人に関する必要な情報は、相談支援事業所の担当相談支援専門員・児童発達支援事業所等に情報共有を図るよう努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	利用者本人に関する必要な情報は、相談支援事業所の担当相談支援専門員・移行先に情報共有を図るよう努めています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4	現在は地域の児童発達支援センターとの連携を図ることは行っていません。事業所内での助言する機会を設けています。	今後は、地域の児童発達支援センターとの連携を図ることは行い、助言や研修を受ける機会を増やしていきたいと考えております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4	現在は放課後児童クラブや児童館の交流は行っていません。	今後、放課後児童クラブや児童館の交流がもつことができようように検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		4	現在、協議会等の参加は行っていません。	今後、協議会等に参加していきたいと考えております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時や電話連絡にて、日頃の様子や活動内容を伝えながら、保護者の方と共有理解に努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4	送迎時や電話連絡にて説明を行っているが、保護者の方に対する家族支援プログラムご家族等の参加できる研修の機会の実施は行っていません。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		体験・見学の際に支援プログラムについて説明を行い、契約時に再度、運営規定・支援プログラム・利用者負担額に関する内容を説明しています。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		保護者の方の要望を基に計画書及び活動プログラムに反映しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		支援内容の説明を行い署名による同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	1	ご相談があった場合は、相談内容は守秘義務を尊重したうえでよくいに周知し、対応を行っています。保護者様と信頼関係を大切にし、些細なことでもご相談いただけるように努めています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		4	現在、父母の会や保護者会については実施していない。	今後、父母の会や保護者会については実施していないが検討していきたいと考えております。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		保護者の方のご意見に関しては職員間で共有し迅速かつ適切に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4		定期的にInstagram・ホームページを更新し活動の様子を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		利用者から頂いた個人情報は施錠できる書庫で厳重に管理しています。利用者の個人情報にあたっては、「個人情報使用同意書」により許可を頂いております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		意思疎通や情報伝達のために、保護者の方に送迎時や電話にて活動の様子など連携を適切に行うよう努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	事業所主催の行事は行っていないが、地域のイベントに参画しています。	引き続き地域のイベントに参画し、地域住民を招待できる事業所イベントを検討していきたいと考えております。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	現在職員間では感染対策マニュアルを策定し事例が発生を想定した訓練を行っておりますが、保護者へのマニュアル周知は行っておりません。	今後はサービス内容等と併せて周知していく必要があると考えております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1	避難所までの道のりと路上確認を定期的に行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		子どもの状況を把握できるように事前にアセスメント時に確認を行い職員間で共通認識を図っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		保護者の方からの情報を基に、食物アレルギーの有無を把握し、職員の目の届くところに掲示しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画を策定し職員間で周知しております。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1	保護者の方との連携が図れるよう緊急連絡先等の情報共有を行い、安全確保に努めています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハットが起きた場合、その都度業務記録に残し、翌日のミーティング、職員用連絡に記載し注意喚起を徹底し、再発防止に向けて全職員に周知しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止の研修や委員会を定期的に開催しています。全職員が危機意識を持ち適切な行動を遂行できるように心がけています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	1	身体拘束適正化についての研修・委員会を定期的に開催しています。現在該当する児童はいないので計画書への記載はしていません。	